

豊後高田市立田染小学校

学力向上プランの概要

- (1) 思考力・判断力・表現力を高める指導法（授業）の工夫・改善
- (2) 言語活動（コミュニケーション能力）の充実
- (3) 個別指導の充実
- (4) 学習規律の確立と家庭学習の習慣化
- (5) 地域人材を活用した学習活動の充実
- (6) 小中の連携授業実践の充実
- (7) 学力保障の取り組み

効果のある取組事例

(1) 思考力・判断力・表現力を高める指導法（授業）の工夫・改善

- ①児童が主体的に学習に取り組む授業づくり（校内研究との一体化）
 - 「新大分スタンダード」「新学習指導要領（主体的・対話的で深い学び）」を意識した互見授業による教職員の授業力向上（月に一度の授業改善研修の実施）
 - 極小規模校におけるプチ協調学習（アクティブ・ラーニング）の推進
 - 読書活動の推進（「読み聞かせグループスマイル」「中学生による読み聞かせ」等）
- ②全国・県学力調査のB問題を活用した思考力・判断力・表現力を伸ばす授業づくり
- ③全国学力学習状況調査や県学力学習状況調査の分析と授業や指導方法の改善

(2) 言語活動（コミュニケーション能力）の充実

- ①「自分の考えを持ち・練り合う時間（20分）」の確保、「発表の場（10分）」を確保する生徒指導の3機能を生かした授業づくり
- ②毎時間、授業の最後に順番で児童に本時のまとめを発表させる。
- ③地域の行事等に積極的に参加し、多くの地域の方々の前で歌や踊り等を発表する機会を増やし、言語活動（表現力）の充実を図る。（「暗記のすすめ学」の実施）

(3) 個別指導の充実

- ①授業・チャレンジタイム・放課後学習等を通して基礎・基本の定着を図る。
- ②「学びの21世塾の土曜日講座」「ステップアップ学習」等、1年生から6年生まで全校児童を対象に実施するなどあらゆる機会をとらえての個別指導の実施
- ③年間を通した「データベース問題」の活用（習熟度別問題）

(4) 学習規律の確立と家庭学習の習慣化

- ①正しい姿勢、挙手の仕方、発表の仕方などの学習規律の徹底（「豊後高田市の学習規律」）
- ②家庭と連携し、家庭学習の習慣化を図る。（10分×学年数+10分の定着）
- ③目標協働達成のため、年3回の「生活チャレンジウィーク」を実施し、学習と運動の両面から保護者の意識の高揚を図る。

(5) 地域人材を活用した学習活動の充実

- ①学校支援地域本部コーディネーターと連携して、地域人材活用を促進する
○地域人材活用の充実：夏休みのステップアップ学習・学びの21C塾の講師として

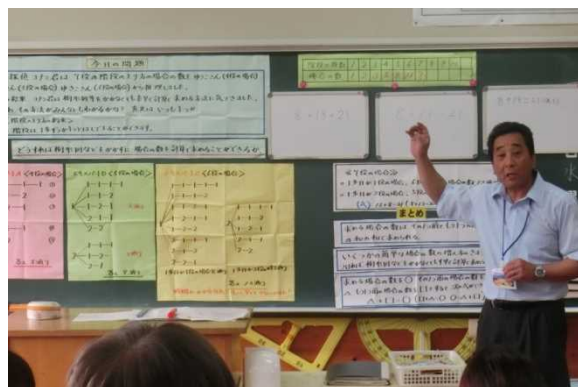
(6) 小中の連携強化

- ①校内研究や授業研究の交流（授業力向上に向けての小中合同研修会の実施）
- ②行事・学習活動の交流（「ふるさと学習」の推進）
 - 中学校から小学校への読み聞かせ活動（中学生による小学生への読み聞かせ）
 - 小中合同運動会、小中合同文化財清掃活動等（「大分県文化財愛護少年団」に加盟）
 - 小中乗り入れ授業等の連携授業の実施（英語・図工・音楽・書写等）
- ③連携会議の充実（小中連携会議年間3回・学校運営協議会年間5回）
 - 学校運営協議会（CS）を年間5回合同開催し、小中9年間を通して「田染っ子」を育てる意識の共有

(7) 学力保障の取り組み

1. 長期休業中や土曜日の取り組み

- ①「夏休みステップアップ学習」「学びの21C塾（第1・第3・第5土曜日）」への全学年の参加等、低学年から基礎・基本の定着
- ②夏・冬期休業中の個別指導の実施（学習面で支援を要する児童への個別指導）



【田染小中・呉崎小3校合同協調学習研修会（校長による教職員への模擬授業）】



児童へ
還元！



児童へ
還元！